

2021年3月末 共通KPI 傾向と業態別比較

2021年9月15日

サマリー

- 分析対象となる投資信託の販売会社（188社）の2021年3月末基準の**運用損益プラス顧客比率**（以下、同比率）**平均は82%**と、2020年3月末の28%から大幅に改善しました。コロナショックを受け、世界各国で大規模な金融緩和と財政出動を伴う景気支援策が実施されたことにより、株式や債券など各資産の価格が上昇したことが同比率の改善につながりました。
- 同比率の平均値が最も高かった業態は、**運用会社で99%**となりました。一方、最も低かった業態は**対面証券(地銀系)で76%**でした。
- 残高加重平均リターン^①の2021年3月末の単純平均値は7.32%と、2020年3月末の-0.72%から大きく上昇しました。一方、残高加重平均コスト^②の2021年3月末の単純平均値は1.92%と、2020年3月末の1.87%と比べて若干の上昇となりました。

本レポートは、銀行、証券会社、直販を行う投資信託運用会社（以下、運用会社）等を対象に、『投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI』（以下、共通KPI）を分析しています。2021年3月末基準の分析対象の販売会社は188社で（7月末調査）、内訳は下記の通りです。

（社）

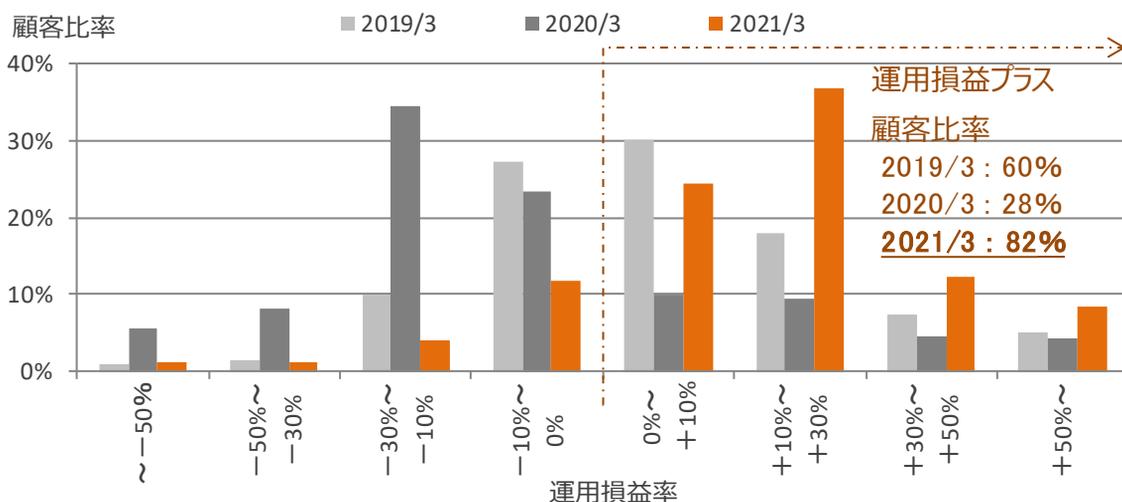
| 都市・ 信託銀行等 | 地銀 | 対面証券 (非地銀系) | 対面証券 (地銀系) | ネット証券 | 運用会社 |
|--------------|----|----------------|---------------|-------|------|
| 17 | 94 | 42 | 24 | 5 | 6 |

※弊社分類

※地銀には第二地方銀行が含まれます

1. 投資信託の運用損益別顧客比率の変化

2021年3月末における銀行や証券会社等の同比率の平均値は82%と、2020年3月末の28%から大幅に上昇しました。

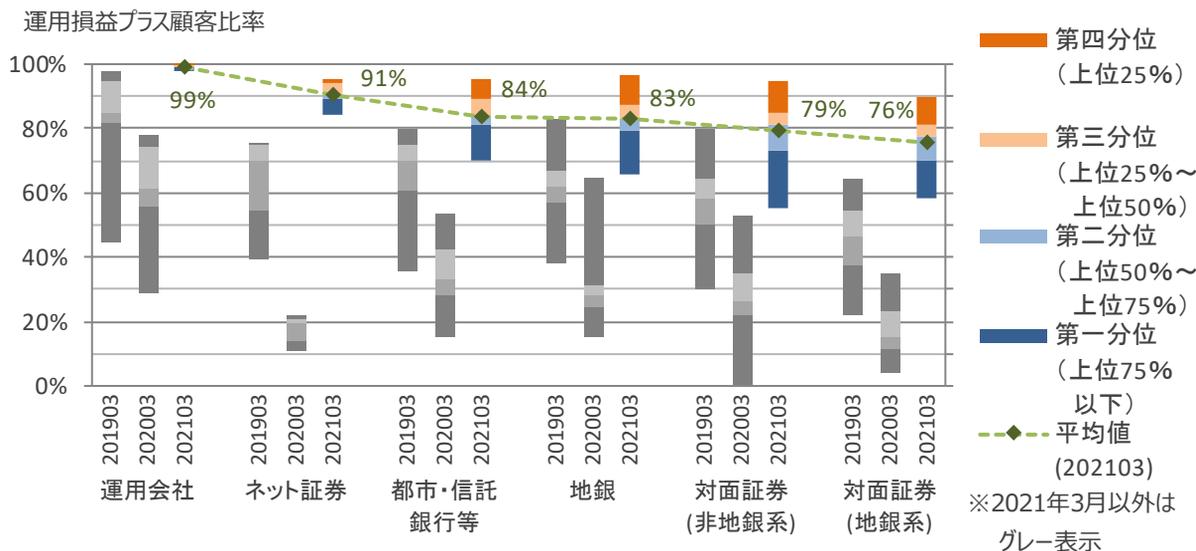


※2019/3は193社、2020/3は199社、2021/3は188社の平均値

2. 業態別 共通KPI項目の分布と変化

(1) 運用損益プラス顧客比率

同比率平均値は、運用会社が99%で最も高く、対面証券(地銀系)が76%で最も低くなりました。2020年3月末比で最も大きく上昇したのはネット証券で18%から91%に上昇、他の業態でも50%程度上昇しました。



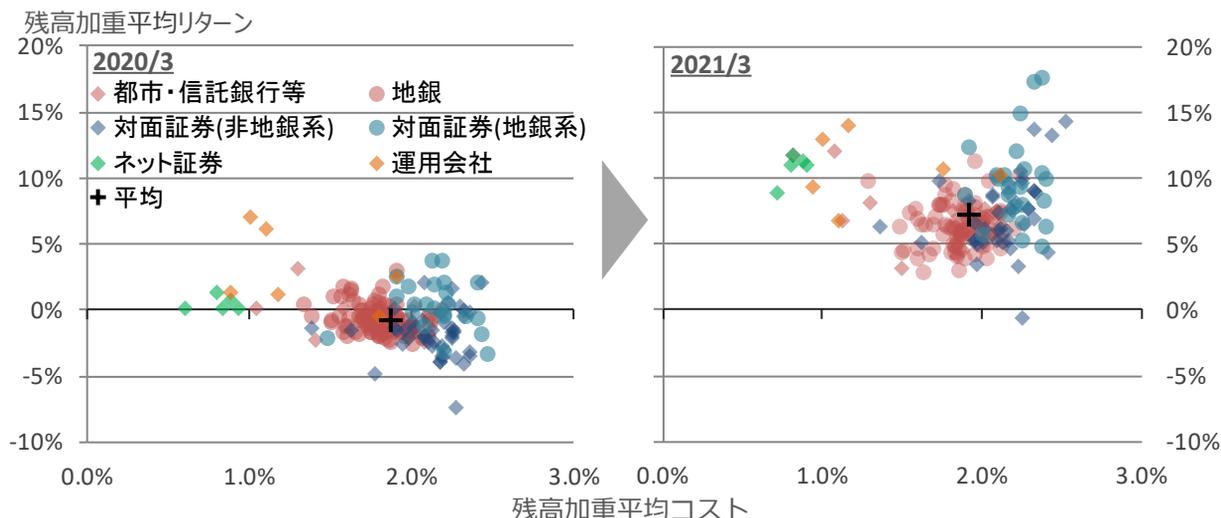
※グラフの見方

2021年3月の地銀を例にみると、分析対象94行の同比率は平均83%で、最も高かった地銀は約95% (バーの最上部)、最も低かった地銀は約65% (バーの最下部) だったことを示しています。また、上位24行 (四分の一) の同比率は、約85%~95%の間 (濃いオレンジ色の部分) に分布していることを表します。

(2) 残高加重平均コスト・リターン

残高加重平均リターンは全業態で上昇し、単純平均値は7.32%と、2020年3月末の-0.72%から大きく上昇しました。残高加重平均コストの単純平均値は1.92%と、2020年3月末の1.87%と比べて若干上昇しました。

ネット証券や運用会社は業界平均に比べコストは低く、リターンが高い傾向がありました。この傾向は広く共通KPIの公表が始まった2019年3月末から3年連続で続いています。

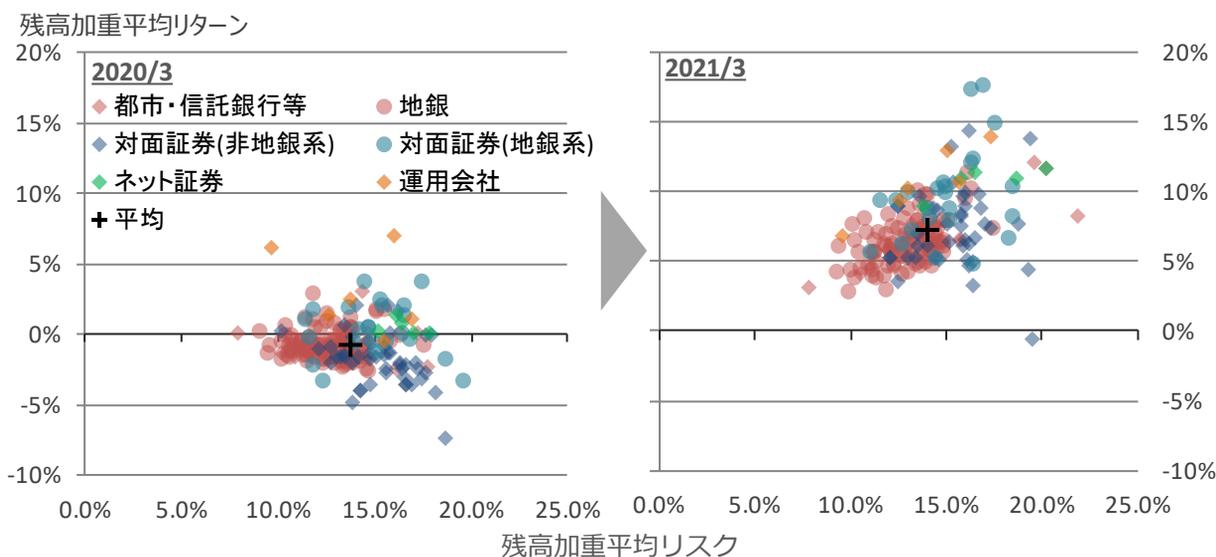


| | | 全体※ | 都市・ 信託銀行等 | 地銀 | 対面証券 (非地銀系) | 対面証券 (地銀系) | ネット 証券 | 運用 会社 |
|------|--------|--------|--------------|--------|----------------|---------------|-----------|----------|
| コスト | 2020/3 | 1.87% | 1.80% | 1.79% | 2.13% | 2.14% | 0.81% | 1.31% |
| 平均値 | 2021/3 | 1.92% | 1.74% | 1.87% | 2.13% | 2.22% | 0.82% | 1.34% |
| リターン | 2020/3 | -0.72% | -0.93% | -0.71% | -1.82% | 0.33% | 0.52% | 2.95% |
| 平均値 | 2021/3 | 7.32% | 6.94% | 6.38% | 7.31% | 9.70% | 10.79% | 10.67% |

※分析対象全社の単純平均値

(3) 残高加重平均リスク・リターン

リスク・リターン図は、2020年3月末時点は平均の周りに集まって分布していましたが、2021年3月末は右肩上がりの傾向（ハイリスク・ハイリターンの関係）に変化しました。リスクが高い株式型の投資信託を多く販売した会社ほど、コロナショック後の資産の価格の上昇の影響を大きく受け、残高加重平均リターンが上昇しました。



| | | 全体※ | 都市・ 信託銀行等 | 地銀 | 対面証券 (非地銀系) | 対面証券 (地銀系) | ネット 証券 | 運用 会社 |
|-----|--------|--------|--------------|--------|----------------|---------------|-----------|----------|
| リスク | 2020/3 | 13.70% | 13.37% | 12.62% | 15.26% | 14.90% | 16.51% | 14.05% |
| 平均値 | 2021/3 | 13.99% | 14.34% | 12.89% | 15.40% | 15.02% | 17.00% | 13.84% |

※分析対象全社の単純平均値。リターン平均値は前記(2)をご参照ください

当社では販売会社様向けに「**共通KPI 分析・向上コンサルティングサービス**」をご提供しております。

本レポートについてご不明な点やご質問、コンサルティングについての問い合わせがありましたら、次頁の照会先にお問い合わせください。

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

ソリューショングループ

奥村 武史 青木 一央

03-6721-1033

mab-consulting@mab.co.jp

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

URL: <https://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号、助言・代理業、投資運用業

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会